

世界旅打ち気分

●第83回・西オーストラリア州のメトロ口場

須田鷹雄



写真1) アスコット競馬場の本馬場入場風景



写真2) ベルモント競馬場のスタンドは古さを感じさせない



写真3) ベルモント競馬場のレース風景

<https://www.instagram.com/sudatakaashoten/>

筆者はよくオーストラリアに行っているが、ひとつ達成したいと思っ
ている課題がある。それは「メトロ
口場の全踏破」である。
過去にこの連載で書いたことも
あるが、おさらいしておきたい。オ
ーストラリアの競馬開催には格
付けがあり、重要なほうからメト
ロ、プロヴィンシャル、カントリー、
ピクニック(アマチュア騎手専用)
となる。ピクニック州ではプロヴ
インシャルという呼び方を採用し
ていないが、カントリーの中に実
質プロヴィンシャルの開催があ
る。
メトロ口場とは各州の中心的地
競馬場で、NSW州やVIC州では
4場、QLD州やWA州には2場あ
る。開催が基本的にはすべてメト
ロ開催となる競馬場だ(ごく一部
の開催だけメトロ扱いになる競馬
場もある)。無数にあるオースト
リアの競馬場の中で、メトロ口場
だけでも踏破しておきたいと考
えただけである。
そこで今回の西オーストラリア
州(WA州)である。パースを州都
とするこの州はその名の通りオ
ーストラリアの西側にあるが、砂漠
や山岳によって東側とは完全に

ち越されたのである。
た。そして宿題は2026年に持
ち越されたのである。
幸い、今年は無事に実施され
た。しかし来てみると……意外に
小さい。敷地に入ったらすぐスタ
ンド。スタンドの大きさそのものは
アスコットと同じくらいなのだろ
うが、ヒラ開催時に稼働している
スペースも狭い。一般エリアの飲食
店は、あまりおいしくないハンバー
ガーを出す売店が1店のみ。全体
的に「こんなものなの？」という感
じだった。
そもそも着いたときに一般駐
車場への誘導看板がなく、初見の
身ではメンバー用の駐車場しか見
つけられなかった。本当なら停め
てはいけないのだから誰が見張
っているわけでもなく、かつスペ
ースは余りまくっている。申し訳な
いがそちらに停めさせていただけ
だ。後からレースブックを見ると、
スタンドから4コーナー方向に一
般駐車場があったようなのだが、
通りかかったときの見た目は工事
現場そのもので、駐車場を示すも
のもなかった。メトロ口場といつ
ても、そのくらいで管理されてい
るのだ。
考えてみると、メトロ口場とは

分かれた感じになっている。他州
の都市から行く場合、飛行機で
行くしかない。パースは成田から
直行便が飛んでいるが、基本的
にはビジネスマン以外にとっては
そこまで行く機会もない都市とい
うのが正直なところだ。
そんなWA州にある2つのメト
ロ口場のうち、アスコット競馬場には
2018年にグリーンチャンネル
の口場で行った。印象としては、な
かなか立派な競馬場である。入口
付近は公園のようになっているし、
入場門を入ってからスタンドまで
の距離もある。スタンドそのもの
の大きさはそこまででもないが、そ
れとは別に屋根付きのファン滞留
スペースもある。我々が行った日
はヒラ開催なのでそちらはほぼ無
人でバーやTABの窓口も閉まっ
ていたが、G1日に本気で客を入
れたらかなり入りそうではあった。
アスコット競馬場ができたのは
1848年というからかなり古い。
現在は3つのG1が設定されてい
るが、そのうちのひとつがノーザ
リス。この競馬場でデビューした
ノーザリー(日本に種牡馬として来
たノーザリーとは別の馬)にちな
んだレース名である。2021年ま
えベルモントのほうはG3が年に
4レースあるだけ。主要競走のほ
とんどはアスコットで行われる。2
つの対等な競馬場というよりは、
メインとサブのような感じなの
だ。
ただ、だからといって観戦が楽
しめないわけではない。オースト
リアの競馬場によくある形だが、
装鞍所からマウンティングヤード
(パドック)まではファンエリアと外
ラチの間にある通路を馬が歩いて
くるので、間近に出走馬を見るこ
とができる。スタンドは非メンバ
ーだと1階しか利用できないが、マ
ウンティングヤードの周りはほぼ
一般に開放されており、不便さは
ない。
ウィキペディアにも詳しい記事
がないので検索しまくったところ、
ベルモント競馬場は2018年か
ら周辺を含めた再開発工事に入
っているようだ。現在は競馬場と
大きなスタジアムだけがそこにあ
りその間に電車の駅があるのだ
が、高層ビルやマンション、遊歩道
やレストラン群ができる予定だと
いう。2018年の記事なので、現
地に行った感想としては「8年経
つたわりになんもできてねえな」と

ではキングスタウンクラシック
クといい、これはこのレースが「ウ
スタンメールクラシック」だった時
代に優勝した名馬にちなんだも
のである。オーストラリアはレ
ス名がころころ変わりやすいが、
ノーザリスは同じレースで8つ
めの名称。しかも馬の名前を冠
したものを別な馬にしたのだから
日本ではありえない。引退戦だけ
WAに来た名馬から、WAでデビ
ュしG1常連になった名馬に乗り換
えた形だ。
それはともかく、アスコットの印
象は「かなり立派」というものだ
だ。ゆえに、もうひとつのメトロ口
場であるベルモントも立派なのだ
らう、と想像していた。そしていつ
かはそちらも行くことと考えていた
わけである。
ベルモント訪問は2025年に
計画していた。シドニーのセリが終
わったあとにパースに飛ぶ予定で、
航空券もとってあったのだ。ところ
が数日前になって、「馬場コンディ
ションが悪いのでアスコットに振り
替えます」というお知らせが。豪
州競馬に日程変更はつきものだ
が、片道5時間の航空券を用意
していた身としてはショック大だ

という感じが、敷地が手狭に感じ
たのは、再開発用にスペースを献
上したためではないかと想像す
る。スタンドは1967年築で老朽
化しているが、財政的な理由で新
スタンド計画は中止されたとい
う。ただ、スタンドはよく改修さ
れていて古さを感じないし、むしろモ
ダンな雰囲気ですらある。
周辺の再開発は2033年頃
の完了を見込んでいるそうで、そ
こまで行くと周辺は一大開発工
リアとなるかもしれない。しかし
そんな計画の中で、「アスコットも
あるし、ここの競馬場もつ要不
ないだろう」とならなかったのは幸
いである。
ということWA州のメトロ口
場は踏破した筆者だが、考えてみ
るとタスマニア州には行ったこと
がない。また、「メトロ開催がある
プロヴィンシャル場」もかなりの割合
は踏破しているのだが、完全では
ない。VIC州とQLD州は踏破し
たがNSW州には2場が残ってお
り、WA州にはカルグリーリーとい
う恐ろしい難所(パースから車で7
時間)がある。さすがに生きてい
るうちの実現は難しいかもしれな
い。